

6. キャリア科目

【修士課程】

修士課程の学生は、修了までに表 MA-1 に示されている Graduate Attributes (GA) を原則としてすべて満たし、2 単位以上の単位を修得しなければならない。これらの GA・単位を修得するためのキャリア科目として、各コースが開講するものの他に、表 1 に示す 400 番台、500 番台の科目も用意されている。また、技術経営専門職学位課程の表に示す 400 番台、500 番台の科目も、履修人数の制約が許す範囲内で原則他コース学生も履修することができる。

GA・単位の修得状況については、修了時に各コースで修了要件にしたがって判定する。適切に履修すること。

また、キャリア科目としてみなすことが出来る専門科目（キャリア科目対応科目）及び各コースで開講するキャリア科目については、各コースの学修案内に記載されているので、必ず確認すること。

なお、修士課程のキャリア科目は GA として COM が含まれる科目を最初に履修し、別の学期で C1M を含む科目を履修するというように、段階的に履修するように科目設計がなされている。履修計画を立てる際には、このことを十分に考慮すること。

複数の GA が対応する科目については、当該科目の単位を修得することでその科目に対応する全ての GA を満たしたものとみなされる。

表MA-1 修士課程学生に求められるGraduate Attributes

COM	自らのキャリアプランを明確に描き、その実現に必要な能力を、社会との関係を含めて認識できる
C1M	学術・研究における誠実性について理解し、自身の専門能力を学術・科学技術の発展に活用し、専門能力が異なる他者と共同して課題解決に貢献できる

表 1 修士課程キャリア科目

番台	科目コード	科目名	単位数	対応する GA	備考
400 番台	LAC.M401	修士キャリアデザイン (Master's Career Design)	1-0-0	COM	
	LAC.M402	修士キャリアプラン (Master's Career Plan)	1-0-0	COM	
	LAC.M405	★ Japanese Culture and Business (日本人も気づいていない日本の文化とビジネス)	1-0-0	COM	
	LAC.M406	★ Fundamental Strategy for Balancing Career, Personality and Lifestyle (キャリア、パーソナリティ、ライフスタイルのバランス戦略の基礎)	1-0-0	COM	
	LAC.M413	修士キャリアデザイン演習 (Master's Career Design Practice)	0-1-0	COM	

	LAC.M448	★	Critical Thinking (クリティカルシンキング)	1-0-0	C1M	2020 年度から科目名変更
500 番台	LAC.M511		知識集約型キャリア開発 (Smart Business Career Development)	1-0-0	C1M	
	LAC.M521		科学者の倫理 (修士) (Ethics of Scientists (Master Course))	1-0-0	C0M, C1M	
	LAC.M525		技術者の倫理 (修士) (Ethics of Engineers (Master Course))	1-0-0	C0M, C1M	
	LAC.M533		テクノロジーマネジメント概論 (Outline of Technology Management)	1-0-0	C1M	
	LAC.M537		研究と社会貢献 (Social Contributions through Research)	1-0-0	C1M	
	LAC.M538		修士研究インターンシップ (Master's Research Internship)	0-0-1	C1M	
	LAC.M562	★	Scientific Communication (サイエンティフィックコミュニケーション)	1-0-0	C1M	
・★英語で授業を行う科目						

Graduate Attributes と科目の対応表

修士課程 GA

C0M: 自らのキャリアプランを明確に描き, その実現に必要な能力を, 社会との関係を含めて認識できる	C1M: 学術・研究における誠実性について理解し, 自身の専門能力を学術・科学技術の発展に活用し, 専門能力が異なる他者と共同して課題解決に貢献できる
<ul style="list-style-type: none"> ・ 修士キャリアデザイン ・ 修士キャリアプラン ・ Japanese Culture and Business ・ Fundamental Strategy for Balancing Career, Personality and Lifestyle ・ 修士キャリアデザイン演習 ・ 科学者の倫理 (修士) ・ 技術者の倫理 (修士) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Critical Thinking ・ 知識集約型キャリア開発 ・ 科学者の倫理 (修士) ・ 技術者の倫理 (修士) ・ テクノロジーマネジメント概論 ・ 研究と社会貢献 ・ 修士研究インターンシップ ・ Scientific Communication

【博士後期課程】

リーディング大学院教育課程、リーダーシップ教育課程または卓越大学院教育課程を選択した学生以外の全ての博士後期課程の学生は、自らのキャリアプランに応じてアカデミックリーダー教育院（ALP）又はプロダクティブリーダー教育院（PLP）のいずれかを選択し、その選択に応じて修了までに表A-1又は表A-2に示されている Graduate Attributes（GA）を原則としてすべて満たし、4単位以上の単位を修得しなければならない（教育院の選択については、博士後期課程入学から6カ月を経過した時期に、別途、登録の連絡がある）。これらのGA・単位を修得するための科目として、各コースが開講するものの他に、表2に示す600番台のキャリア科目も用意されている。また、イノベーション科学系の表に示す600番台の科目も、履修人数の制約が許す範囲内で原則他コース学生も履修することができる。

GA・単位の修得状況については、修了時に修了要件にしたがって各コースで判定する。適切に履修すること。

また、キャリア科目としてみなすことが出来る専門科目（キャリア科目対応科目）及び各コースで開講するキャリア科目については、各コースの学修案内に記載されているので、必ず確認すること。

なお、博士後期課程のキャリア科目の履修にあたっては、先ずGAとしてA0D又はP0Dが含まれる科目を履修し、別の学期で他のGAが含まれる科目を履修することが望ましい。履修計画を立てる際には、このことを十分に考慮すること。

複数のGAが対応する科目については、当該科目の単位を修得することでその科目に対応する全てのGAを満たしたものとみなされる。

リーディング大学院教育課程、リーダーシップ教育課程並びに卓越大学院教育課程のキャリア科目については、それぞれの学修案内を参照のこと。なお、当該教育課程からALP又はPLPに選択変更を行う場合、当該教育課程で修得が認定されたキャリア能力として必要なGAについては、これを引き継ぐものとする。

表 A-1 アカデミックリーダー教育院(ALP)所属学生に求められる Graduate Attributes

A0D	自らのキャリアプランを明確に描き、アカデミアの分野でその実現に必要な能力を自己修習できる
A1D	現象の本質を見極め、学問の奥義を究めて、新たな学問領域・研究領域の開拓をリードできる
A2D	社会における学術の位置づけと責任ある研究活動の概念を理解し、ステークホルダーたる社会の構成員に学術の進展を適切に説明できる
A3D	研究者が担う役割と社会的責任を理解し、教育機関等において、学術に興味を持たせ、新たな学問領域・研究領域の開拓を担う後継を育成できる

表 A-2 プロダクティブリーダー教育院(PLP)所属学生に求められる Graduate Attributes

P0D	自らのキャリアプランを明確に描き、産業界等でその実現に必要な能力を自己修習できる
P1D	社会のニーズを的確に捉えて課題を見出し、責任ある研究活動を実践する上での法令・規則やポリシーに関する知識を持ち、将来の科学技術の発展をリードできる
P2D	異なる専門性・価値観を有するメンバーからなるチームを率いて、社会に新たな価値を生み出すもの・ことを創造できる
P3D	技術者が担う役割と社会的責任を理解し、プロジェクトを通して次世代の社会や産業の発展を担う後継を育成できる

表2 博士後期課程キャリア科目

番台	科目コード	科目名	単位数	対応する GA	備考
600 番台	LAC.A621	ALP 研修基礎 (ALP Introduction)	1-0-0	A1D	
	LAC.A631	ALP 研修 I (ティーチング) (ALP Practice I (Teaching Practice))	0.5-0-0.5	A2D, A3D	別途, IIDP への申請 書提出が必要
	LAC.A635	ALP 研修 II (海外研修) (ALP Practice II (Overseas Training))	0-0-1	A2D, A3D	別途, IIDP への申請 書提出が必要
	LAC.A639	ALP 研修 III (国内研修) (ALP Practice III (Domestic Training))	0-0-1	A2D, A3D	
	LAC.A641	ALP 発展研修 I (ALP Advanced Practice I)	0-0-1	A1D, A2D, A3D	2020 年度休講
	LAC.A642	ALP 発展研修 II (ALP Advanced Practice II)	0-0-1	A1D, A2D, A3D	2020 年度休講
	LAC.A643	ALP 発展研修 III (ALP Advanced Practice III)	0-0-1	A1D, A2D, A3D	2020 年度休講
	LAC.A644	ALP 発展研修 IV (ALP Advanced Practice IV)	0-0-1	A1D, A2D, A3D	詳細は, OCW-i を確 認すること
	LAC.A645	ALP 発展研修 V (ALP Advanced Practice V)	0-0-1	A1D, A2D, A3D	詳細は, OCW-i を確 認すること
	LAC.C601	博士キャリアデザイン (Doctoral Career Design)	1-0-0	A0D, P0D	
	LAC.C602	博士キャリアプラン (Doctoral Career Plan)	1-0-0	A0D, P0D	
	LAC.C603	★ Strategy for Balancing Career, Personality and Lifestyle (キャリア, パーソナリティ, ライフスタイルのバ ランス戦略)	1-0-0	A0D, P0D	2020 年度から科目名 変更
	LAC.C621	科学者・技術者の倫理 (Ethics of Scientists and Engineers)	1-0-0	A2D, A3D, P1D,	

					P3D	
LAC.C643		★ Developing Career Adaptability for Global Competitiveness (国際競争力向上のためのキャリア開発)	1-0-0	A0D, A2D, A3D, P0D, P2D, P3D		
LAC.C651		★ Technical Discussion (テクニカルディスカッション)	0-1-0	A2D, A3D, P2D, P3D		
LAC.C657		★ Technical Writing (テクニカルライティング)	0-1-0	A1D, P1D		
LAC.C663		グローバル企業の研究開発実践論 (R&D Activities of Global companies)	1-0-0	A1D, P1D	日本語クラス【J】 2018(平成30)年度までの「グローバル企業の研究開発実践論 I」「グローバル企業の研究開発実践論 II」との重複履修不可	
		★ R&D Activities of Global companies (グローバル企業の研究開発実践論)	1-0-0	A1D P1D	英語クラス【E】 2018(平成30)年度までの「グローバル企業の研究開発実践論 I」「グローバル企業の研究開発実践論 II」との重複履修不可	
LAC.C622		知的財産概論 (Introduction to Intellectual Property)	1-0-0	A1D P1D	2019(令和元)年度までの「PLP 研修基礎」との重複履修不可	
LAC.P632		PLP 研修 1 (PLP Practice 1)	0-0-1	P2D, P3D	詳細は、IIDP ホームページを確認すること	
LAC.P633		PLP 研修 2	0-0-2	P2D,	詳細は、IIDP ホーム	

		(PLP Practice 2)		P3D	ページを確認すること
LAC.P634		PLP 研修 4 (PLP Practice 4)	0-0-4	P2D, P3D	詳細は, IIDP ホームページを確認すること
LAC.P642		PLP 発展研修 (PLP Advanced Practice)	0-1-0	P1D, P2D, P3D	詳細は, IIDP ホームページ, OCW-iを確認すること
LAC.P661		リカレント教育発展研修 1 (Recurrent Program Advanced Practice 1)	0-0-1	P0D, P1D, P2D, P3D	必要な単位数に見合うだけの成果を得ることができるクォーターに, 対応する科目(リカレント 1~4)を申告すること。なお, 同一科目の重複履修はできないことに留意すること。
LAC.P662		リカレント教育発展研修 2-1 (Recurrent Program Advanced Practice 2-1)	0-0-2	P0D, P1D, P2D, P3D	同上
LAC.P665		リカレント教育発展研修 2-2 (Recurrent Program Advanced Practice 2-2)	0-0-2	P0D, P1D, P2D, P3D	同上
LAC.P663		リカレント教育発展研修 3 (Recurrent Program Advanced Practice 3)	0-0-3	P0D, P1D, P2D, P3D	同上
LAC.P664		リカレント教育発展研修 4 (Recurrent Program Advanced Practice 4)	0-0-4	P0D, P1D, P2D, P3D	同上
・★英語で授業を行う科目					

Graduate Attributes と科目の対応表

アカデミックリーダー教育院 (ALP)

A0D: 自らのキャリアプランを明確に描き、アカデミアの分野でその実現に必要な能力を自己修習できる	A1D: 現象の本質を見極め、学問の奥義を究めて、新たな学問領域・研究領域の開拓をリードできる	A2D: 社会における学術の位置づけと責任ある研究活動の概念を理解し、ステークホルダーたる社会の構成員に学術の進展を適切に説明できる	A3D: 研究者が担う役割と社会的責任を理解し、教育機関等において、学術に興味を持たせ、新たな学問領域・研究領域の開拓を担う後継を育成できる
<ul style="list-style-type: none"> 博士キャリアデザイン 博士キャリアプラン Strategy for Balancing Career, Personality and Lifestyle Developing Career Adaptability for Global Competitiveness 	<ul style="list-style-type: none"> ALP 研修基礎 ALP 発展研修 I * ALP 発展研修 II * ALP 発展研修 III * ALP 発展研修 IV ALP 発展研修 V 知的財産概論 Technical Writing グローバル企業の研究開発実践論 R&D Activities of Global companies 	<ul style="list-style-type: none"> ALP 研修 I (ティーチング) ALP 研修 II (海外研修) ALP 研修 III (国内研修) ALP 発展研修 I * ALP 発展研修 II * ALP 発展研修 III * ALP 発展研修 IV ALP 発展研修 V 科学者・技術者の倫理 Developing Career Adaptability for Global Competitiveness Technical Discussion 	<ul style="list-style-type: none"> ALP 研修 I (ティーチング) ALP 研修 II (海外研修) ALP 研修 III (国内研修) ALP 発展研修 I * ALP 発展研修 II * ALP 発展研修 III * ALP 発展研修 IV ALP 発展研修 V 科学者・技術者の倫理 Developing Career Adaptability for Global Competitiveness Technical Discussion

*の科目:2020 年度は休講

プロダクティブリーダー教育院 (PLP)

P0D: 自らのキャリアプランを明確に描き、産業界等でその実現に必要な能力を自己修習できる	P1D: 社会のニーズを的確に捉えて課題を見出し、責任ある研究活動を実践する上での法令・規則やポリシーに関する知識を持ち、将来の科学技術の発展をリードできる	P2D: 異なる専門性・価値観を有するメンバーからなるチームを率いて、社会に新たな価値を生み出すもの・ことを創造できる	P3D: 技術者が担う役割と社会的責任を理解し、プロジェクトを通して次世代の社会や産業の発展を担う後継を育成できる
<ul style="list-style-type: none"> 博士キャリアデザイン 博士キャリアプラン Strategy for Balancing Career, Personality and Lifestyle Developing Career Adaptability for Global Competitiveness リカレント教育発展研修 1 リカレント教育発展研修 2-1 リカレント教育発展研修 2-2 リカレント教育発展研修 3 リカレント教育発展研修 4 	<ul style="list-style-type: none"> 科学者・技術者の倫理 知的財産概論 Technical Writing グローバル企業の研究開発実践論 R&D Activities of Global companies PLP 発展研修 リカレント教育発展研修 1 リカレント教育発展研修 2-1 リカレント教育発展研修 2-2 リカレント教育発展研修 3 リカレント教育発展研修 4 	<ul style="list-style-type: none"> Developing Career Adaptability for Global Competitiveness Technical Discussion PLP 研修 1 PLP 研修 2 PLP 研修 4 PLP 発展研修 リカレント教育発展研修 1 リカレント教育発展研修 2-1 リカレント教育発展研修 2-2 リカレント教育発展研修 3 リカレント教育発展研修 4 	<ul style="list-style-type: none"> 科学者・技術者の倫理 Developing Career Adaptability for Global Competitiveness Technical Discussion PLP 研修 1 PLP 研修 2 PLP 研修 4 PLP 発展研修 リカレント教育発展研修 1 リカレント教育発展研修 2-1 リカレント教育発展研修 2-2 リカレント教育発展研修 3 リカレント教育発展研修 4

参考:リーダーシップ教育課程 (ToTAL)

A0D・A1D・A2D・A3D/ P0D・P1D・P2D・P3D	A0D・A3D/P0D・P3D
・リーダーシップ・オフキャンパスプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> Practical Group Work for Leadership I/II Advanced Group Work for Leadership I/II